

**令和元年度**

**決算報告書**

**国立大学法人山口大学**

# 令和元年度 決算報告書

国立大学法人山口大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	12,693	12,862	169	(注1)
施設整備費補助金	2,165	1,777	△387	(注2)
補助金等収入	404	625	221	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	43	43	0	
自己収入	30,884	30,997	113	
授業料、入学料及び検定料収入	6,225	6,136	△88	(注4)
附属病院収入	23,682	23,800	118	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	977	1,060	83	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,418	2,814	396	(注7)
長期借入金	281	149	△131	(注8)
目的積立金取崩	28	288	260	(注9)
計	48,916	49,559	643	
支出				
業務費	42,620	43,063	443	(注10)
教育研究経費	19,491	19,034	△456	
診療経費	23,129	24,029	900	
施設整備費	2,489	1,970	△518	(注11)
補助金等	404	625	221	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,418	2,420	2	
長期借入金償還金	985	921	△63	
計	48,916	49,002	85	
収入－支出	0	557	557	

#### ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当に係る前年度からの繰越額及び、予算段階では予定していなかった退職手当および年俸制導入促進費の追加配分が行われたことにより、予算金額に比して決算金額が169百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画変更に伴う繰越および返還が行われたことにより、予算金額に比して決算金額が387百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、国及び県からの補助金事業の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が221百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、志願者数の減少および、授業料免除（新制度）による入学料免除（猶予）対象者が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が88百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数（特に高額手術件数）の増加による、診療単価等が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が118百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、自己収入の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が83百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金等の外部資金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が396百万円多額となっています。
- (注8) 長期借入金については、計画変更に伴う繰越が行われたことにより、予算金額に比して決算金額が131百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、病院再開発整備のために目的積立金を取り崩したことにより、予算金額に比して決算金額が260百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、病院整備による超過勤務の発生等により人件費が増加したこと、および稼働の増加に伴う医薬品・材料の増加により、予算金額に比して443百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、（注2）および（注8）に示した理由により、予算金額に比して決算金額が518百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、（注3）に示した理由により、予算金額に比して決算金額が221百万円多額となっています。